

タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587000101	科目番号	05870001
授業科目名	●心身の健康と生命II (スポーツ医学)		
編集担当教員	安武 亨		
授業担当教員名(科目責任者)	安武 亨		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	安武 亨, 鎌田 幸治, 篠崎 彰子, 宮本 力		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生 (クラス等)	工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス	toru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部・先端体育支援センター		
担当教員TEL	095-819-7987		
担当教員オフィスアワー	8:00-8:50 月、火、水		
授業の概要及び位置づけ	スポーツの側面より医学を学ぶ。		
授業到達目標	医学の側面よりスポーツの種々の事項を説明できる。 スポーツパフォーマンスを向上させることができる。		
授業方法 (学習指導法)	講義・グループワーク		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	スポーツ栄養学 (1)	
	3	スポーツ栄養学 (2)	
	4	スポーツ栄養学 (3)	
	5	スポーツ外傷総論	
	6	ストレッチ	
	7	筋力トレーニング	
	8	スポーツ外傷各論	
	9	スポーツリハビリテーション	
	10	歯とスポーツ	
	11	メンタルトレーニング、小テスト	
	12	グループワーク：スポーツ医学の興味と疑問	
	13	グループワーク：スポーツ医学 わかっていること知らないこと	
14	グループワーク：スポーツ医学 わかっていないことを知るために		

	15	全体討論
	16	
キーワード	スポーツ、医学、栄養、外傷、トレーニング、歯	
教科書・教材・参考書	1. スポーツ医学研修ハンドブック基礎科目 第2版 文光堂 2. スポーツ医学研修ハンドブック応用科目 第2版 文光堂	
成績評価の方法・基準等	小テスト（20点）。授業への参加状況（50点）。グループ発表（30点）。	
受講要件（履修条件）	積極的に授業に参加すること。時間外グループワークができること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587000501	科目番号	05870005
授業科目名	●心身の健康と生命II(男と女の脳科学)		
編集担当教員	有賀 純		
授業担当教員名(科目責任者)	有賀 純		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	有賀 純,篠原 一之,土居 裕和,木原 敏晴		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kazuyuki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	大学院医歯薬学総合研究科 神経機能学(旧 医学部第二生理学)		
担当教員TEL	095-819-7035		
担当教員オフィスアワー	月～金 16:30～17:30		
授業の概要及び位置づけ	男女の脳の働き、発達、疾患や、脳の研究法を学習することで、脳の性差についての科学的理解を深める。また、これらに取り組む過程で、脳の構造や機能についての基礎的な知識も養うことがねらいである。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.脳の性差や脳の性分化について、意欲的に学習に取り組むことができること(学ぶ力)。 2.講義を通じ、得られた知識を自ら咀嚼し、疑問に感じたこと、自分の意見等をまとめることができること(考える力)。 3.グループワークに積極的に参加することができること(関わる力)。 4.講義中での議論の場あるいはプレゼンテーションにおいて、自分の意見を積極的に発言することができること(表現する力)。 		
授業方法(学習指導法)	PCプロジェクタを利用したスライド講義の他、講義内容に関連する課題、実習等を行う(グループワーク含む)。		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.ガイダンス：学習目標と方法 2.脳機能と行動の性差 3.脳の性分化 4.ホルモン・フェロモンの科学 5.恋愛の脳科学 6.母性・父性の脳科学 7.脳科学・行動実験体験(1) 8.脳科学・行動実験体験(2) 9.脳科学から見た同性愛・性同一性障害 10.インターセックス(半陰陽)の科学 11.グループ学習：脳の性差は先天的か後天的か(1) 12.グループ学習：脳の性差は先天的か後天的か(2) 13.性的マイノリティと社会(1) 14.性的マイノリティと社会(2) 15.グループ学習成果発表・全体討論 		

キーワード	脳、性分化、母性、フェロモン
教科書・教材・参考書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性同一性障害の基礎と臨床 山内俊雄（編著）新興医学出版社 2. 人にフェロモンはあるのだろうか？-ヒトケミカルコミュニケーションの生理学（香り選書16） 柏柳誠（著）フレグランスジャーナル社 3. The Mommy Brain: How Motherhood Makes Us Smarter Katherine Ellison（著）Basic Books; New 4. Milk (2008) Director: Gus Van Sant, Distributed byFocus Features. 5. Boys don't cry (1999) Director: Kimberly Peirce, Distributed by Fox Search Light
成績評価の方法・基準等	出席点（予習課題） 25 レポート 25 グループワーク 25 プレゼンテーション 25
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20140587000901	科目番号	05870009																				
授業科目名	●心身の健康と生命II(ライフサイクルとメンタルヘルス)																						
編集担当教員	小澤 寛樹																						
授業担当教員名(科目責任者)	小澤 寛樹																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小澤 寛樹, 今村 明, 黒滝 直弘, 木下 裕久																						
科目分類	全学モジュールII科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-11																						
対象学生(クラス等)	工学部, 環境科学部																						
担当教員Eメールアドレス																							
担当教員研究室	医学部精神科神経科																						
担当教員TEL	095-819-7291																						
担当教員オフィスアワー	月水木12～13時																						
授業の概要及び位置づけ	自分を取り巻くライフサイクルとメンタルヘルスの実状をまづきちんと把握し、受講者がこれからの経済活動や現代の市民としての生活などで役に立つ知識を習得してもらう事を目標としたい。																						
授業到達目標	毎回のテーマは生活の中で起きうる具体的な問題であり、心理学・精神医学を（必要であれば人文科学・社会科学の知識も）通して、自分で的確に把握できるようになる。そして得られた知識を、まだ知らない人に対しても正しくプレゼンテーション可能なようになる事を通じて、社会に貢献できる「新しい人、（大江健 三郎）になるためのメンタル・リテラシーを身につける。																						
授業方法(学習指導法)	講義プレゼンテーション資料の配布、必要に応じて映像資料をもとに展開する。各回終了毎に、講義内容に基づく出題課題への議論をもとにレポートを提出してもらい、自己の意見を練り上げる過程で理解を深める。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「生きにくいと感じる貴方へ～コミュニケーションとは何か」</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「統合失調症の実際」</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える」</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学」</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視角」</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために」</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い」</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>「子供が普通とは違う苦悩～発達障害について」</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	「生きにくいと感じる貴方へ～コミュニケーションとは何か」	2	「統合失調症の実際」	3	「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える」	4	「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学」	5	「私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視角」	6	「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために」	7	「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い」	8	「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」	9	「子供が普通とは違う苦悩～発達障害について」
回	内容																						
1	「生きにくいと感じる貴方へ～コミュニケーションとは何か」																						
2	「統合失調症の実際」																						
3	「人が死を選ぶ時～尊厳死を考える」																						
4	「誰かが君に恋してる～恋愛現象の脳科学」																						
5	「私は男、それとも女?～ジェンダーを捉える視角」																						
6	「小さい時に受けた心の傷の話～PTSDを癒すために」																						
7	「上手なお酒との付き合い方～依存症って怖い」																						
8	「私達の持つ記憶の本体とは何なのか?」																						
9	「子供が普通とは違う苦悩～発達障害について」																						

	10 「抑うつとは何か～気分障害について」
	11 「親がボケた時、あなたはどうしますか～認知症の基礎知識」
	12 「知性とは何か？～ヒトの知性の発達と精神疾患との意外な関係」
	13 「自己チューな人たち～人格障害を考える」
	14 「アップダウンの激しい人たち～双極性障害の話」
	15 「まとめ」
	16
キーワード	精神医学、精神疾患、メンタルヘルス、アンチスティグマ
教科書・教材・参考書	「シネマサイキアトリー～映画からみる精神医学」（小澤寛樹監訳、中外医学社） 「標準精神医学・第5版」（野村総一郎他編、医学書院）
成績評価の方法・基準等	講義後に提出するレポート：50％ 講義中のディスカッションへの参加態度（意欲点）：50％
受講要件（履修条件）	2014年度（平成26年度）分シラバスへ修正（※平成26年3月24日追記、3月26日再修正）
備考（URL）	
学生へのメッセージ	一見、自分とは無縁だと思いがちな精神医学の様々な症状や問題。実は誰にでも起こりうるものなのです。 この授業では、映像資料などをもとに、人のこころに対する理解を深めていきましょう。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587001301	科目番号	05870013
授業科目名	●心身の健康と生命II(性と命II(いのち))		
編集担当教員	三浦 清徳		
授業担当教員名(科目責任者)	三浦 清徳		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	三浦 清徳, 井上 統夫, 吉田 敦, 増崎 雅子		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)	工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	大学病院産婦人科医局		
担当教員TEL	095-819-7363		
担当教員オフィスアワー	9時-17時30分		
授業の概要及び位置づけ	<p>母親の卵子と父親の精子とが受精し、受精胚になる。受精胚は細胞分裂を繰り返しながら、子宮内膜に着床することで妊娠が成立する。その後、ヒトは胎芽期から胎児期までを母親の子宮内で過すことになる。出生後は、新生児期、幼児期、思春期を経て、生殖年齢に達すると次の世代を生み出す。そして、大人へと成長したヒトは、更年期から老年期を過ぎのちに生命の終焉を迎える。これはヒトの生命の誕生から死に至る過程であるが、医療の現場では生殖補助技術の発達と共に様々な生殖の可能性が恩恵と共に様々な問題が生じている。例えば、体外受精により、不妊症で従来の治療では自然妊娠できないヒトも妊娠することが可能になった。また、新たな生命は生殖細胞の受精による受精胚から誕生するものであったが、クローン技術の発達により、体細胞から生命が誕生しうる時代へと突入している。一方、生殖を男性と女性という性の視点から考えてみると、性同一性障害などの問題も明らかになっている。本講義では、生殖の視点を通じて、生命の発生から死に至る過程と医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について紹介する。本講義を通じていのちの意義について理解を深めて頂きたい</p>		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 生命の発生から死に至る過程を理解する。 2) 生殖医療の発達に伴いヒトが受けた恩恵と様々な問題について理解する。 3) 生命(いのち)の意義について理解を深める。 		
授業方法(学習指導法)	講義(60分)・小テストあるいはレポート(30分)		
	回	内容	
	1	いのちのおこり	
	2	オスとしての男	
	3	メスとしての女	
	4	性の共同作業	
	5	SexとGender	
	6	性の帰結	

授業内容	7	創られた妊娠
	8	輪廻とクローン
	9	胎児という生き物
	10	生まれる！
	11	性の調節
	12	ただひとつの生命
	13	家族のきずな
	14	性の終焉
	15	いのちの行方
16		
キーワード		
教科書・教材・参考書	なし	
成績評価の方法・基準等	全回小テストあるいはレポートを実施して評価する（100点）。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587001701	科目番号	05870017
授業科目名	●心身の健康と生命II(老化と死)		
編集担当教員	池松 和哉		
授業担当教員名(科目責任者)	池松 和哉		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池松 和哉, 田崎 修, 益富 美津代		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-12		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	k-ikema@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部医学科法医学		
担当教員TEL	095-819-7076		
担当教員オフィスアワー	月曜日、午後5時から6時		
授業の概要及び位置づけ	ヒトの死、死に至る過程、老化、医療について多面的に考えるための素材を各講師が講義する。学生は、死の多面性について考え、議論し、最終的にレポートを作成する。		
授業到達目標	ヒトの老化や死の多面性について理解する。		
授業方法(学習指導法)	講義、議論、レポート作成。		
授業内容	回	内容	
	1	9月29日 イントロダクション、人の死とは(1)? 池松和哉(山本琢磨:医学部法医学)	
	2	10月6日 老化の生物学的基盤 池松和哉(下川功:医学部病理学)	
	3	10月20日 寿命遺伝子 池松和哉(下川功:医学部病理学)	
	4	10月27日 脳の老化と疾患 池松和哉(中嶋秀樹:医学部神経内科)	
	5	11月10日 高齢化社会と地域医療 池松和哉(門田 耕一郎:医学部地域医療学)	
	6	11月17日 高齢化社会と地域医療 池松和哉(門田 耕一郎:医学部地域医療学)	
	7	12月1日 高齢者のリハビリテーション 池松和哉(小関弘展:医学部整形外科)	
	8	12月8日 ホスピス 池松和哉(益富美津代:聖フランシスコ病院)	

	9	12月15日 人の死とは（2）？ 池松和哉（山本琢磨：医学部法医学法医学）
	10	12月22日 救命救急からみたヒトの生と死：救命センターには多くの重症患者が搬送され高度な治療が施されるが、一部の症例は救命できない。重症患者の背景や概要、救命に向けた社会や病院の取り組みについて紹介したい。 田崎 修：医学部救命救急センター
	11	1月5日 重症患者は時に「脳死」という状態に陥る。脳死患者には臓器移植という選択肢が残る。臓器移植を提供側の救急医の視点から概説する。 田崎 修：医学部救命救急センター
	12	1月19日 ホスピス 池松和哉（益富美津代：聖フランシスコ病院）
	13	1月26日 老化と死 池松和哉（下川功：医学部病理学）
	14	1月27日 病死と外因死 池松和哉（梅原敬弘：医学部法医学）
	15	2月2日 自殺について考えてみよう 池松和哉（梅原敬弘：医学部法医学）
	16	
キーワード	老化、死	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	講義への出席と議論への参加、レポートによる総合評価	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		

